

一風堂 名古屋大須店



株式会社 カの源ホールディングス 【証券コード: 3561】
2023年3月期 決算補足説明資料
2023年5月12日



- 1. 2023年3月期 決算** P.2~P.21
- 2. 2024年3月期 業績予想** P.22~P.26
- 3. 2028年3月期へのVision** P.27 ~ P.28
- 4. 付属資料** P.29~P.34

1

2023年3月期 決算

2023年3月期 業績ハイライト



連結売上高前期比は34.6%増。国内は、第7、8波感染拡大や労働者不足の影響を受けたが、前期比10.6%増。海外は、期初は一部エリアにおいて感染の影響があったものの、早期に回復し、前期比72.9%増。営業利益、営業利益率ともに修正計画、前期、2020年3月期を全て上回る

売上高

26,116 百万円

修正計画比

+6.6 %

前期比

+34.6 %

2020年3月期比

-10.3 %

営業利益

2,281 百万円

+571 百万円

+1,231 百万円

+1,584 百万円

営業利益率 実績 8.7%

2020年3月期 2.4%

当期純利益

1,628 百万円

+278 百万円

+705 百万円

+1,842 百万円

当期純利益率 実績 6.2%

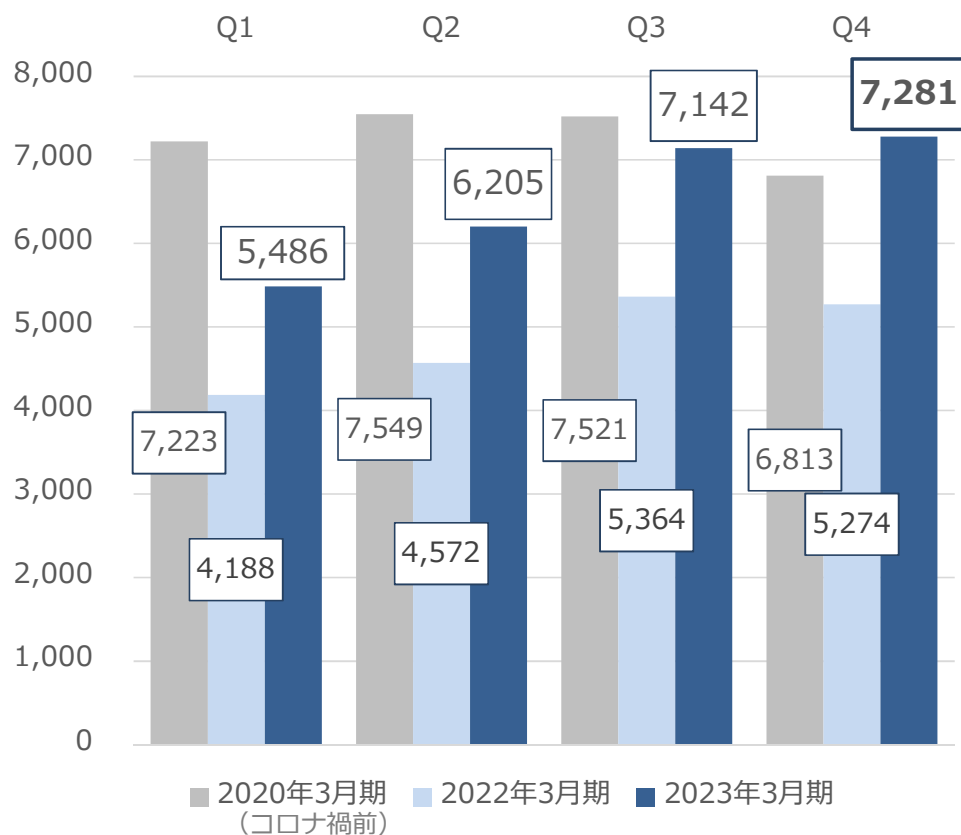
2020年3月期 -0.7%

※修正計画については2022年11月14日開示
通期連結業績予想修正に関するお知らせをご覧ください

連結四半期別売上高・営業利益推移

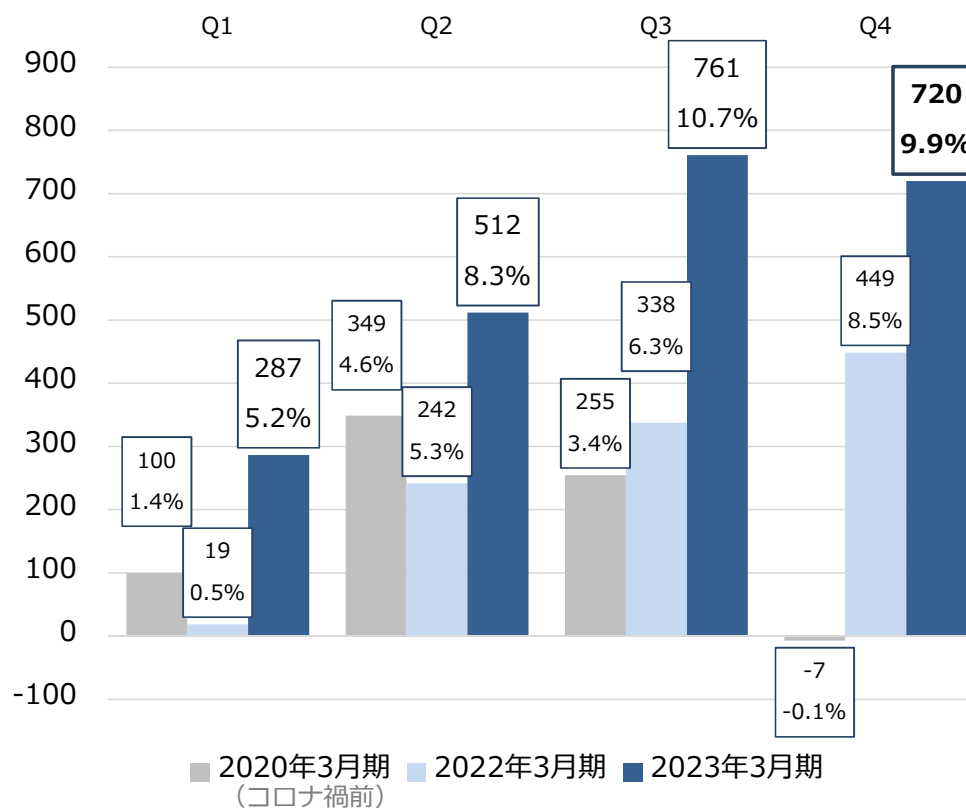
売上高はQ1から引き続き、前年同期比30%以上増を継続
営業利益も、前期及び2020年3月期を上回る

売上高



営業利益 (下段は営業利益率)

単位：百万円

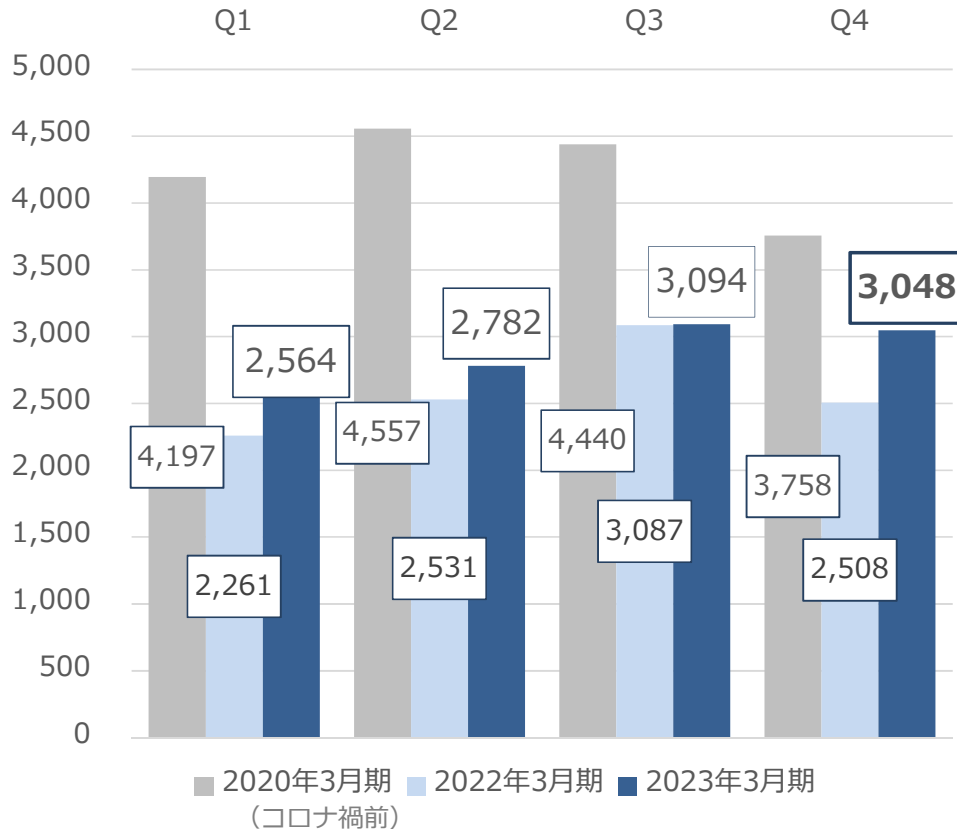


国内店舗運営事業 四半期別売上高・営業利益推移



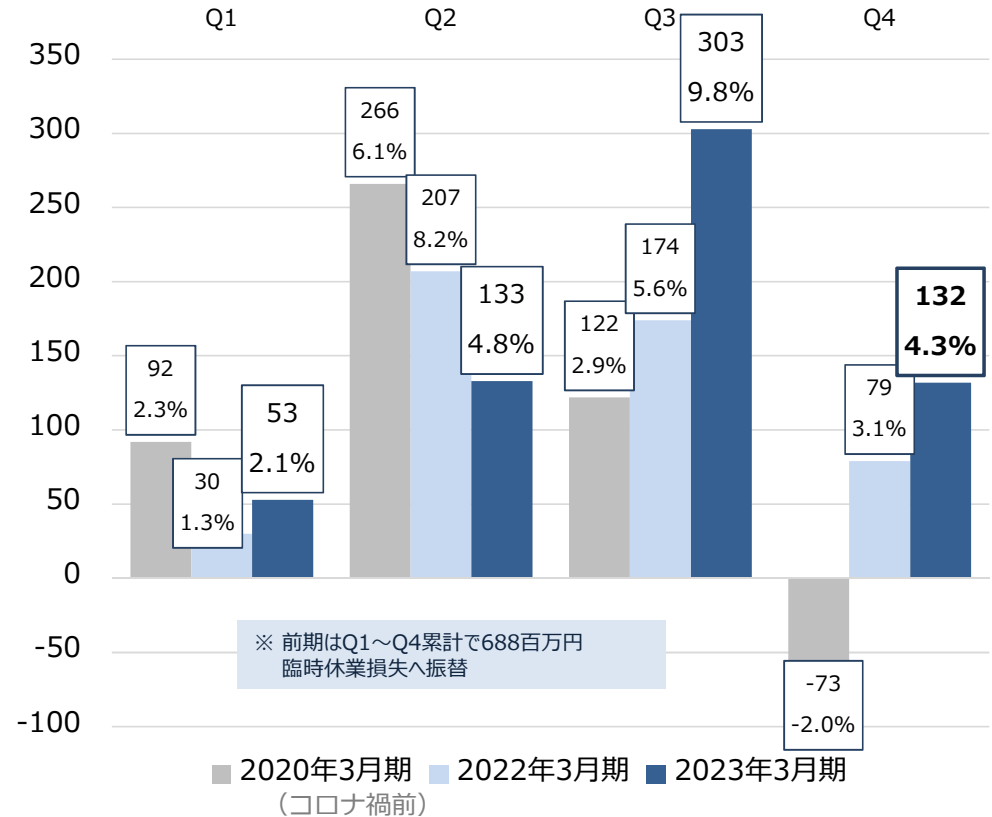
国内売上高は、前期より直営店舗数が12店舗減少(内、PANDA EXPRESS 8店舗譲渡)しているものの、売上前期比10.6%増(Q4は21.6%増)。インバウンドの戻りも徐々に始まり、既存店前期比は16.4%増と好調に推移。営業利益はDX施策等により収益性が改善し、前期比26.6%増(Q4は68.1%増)

売上高

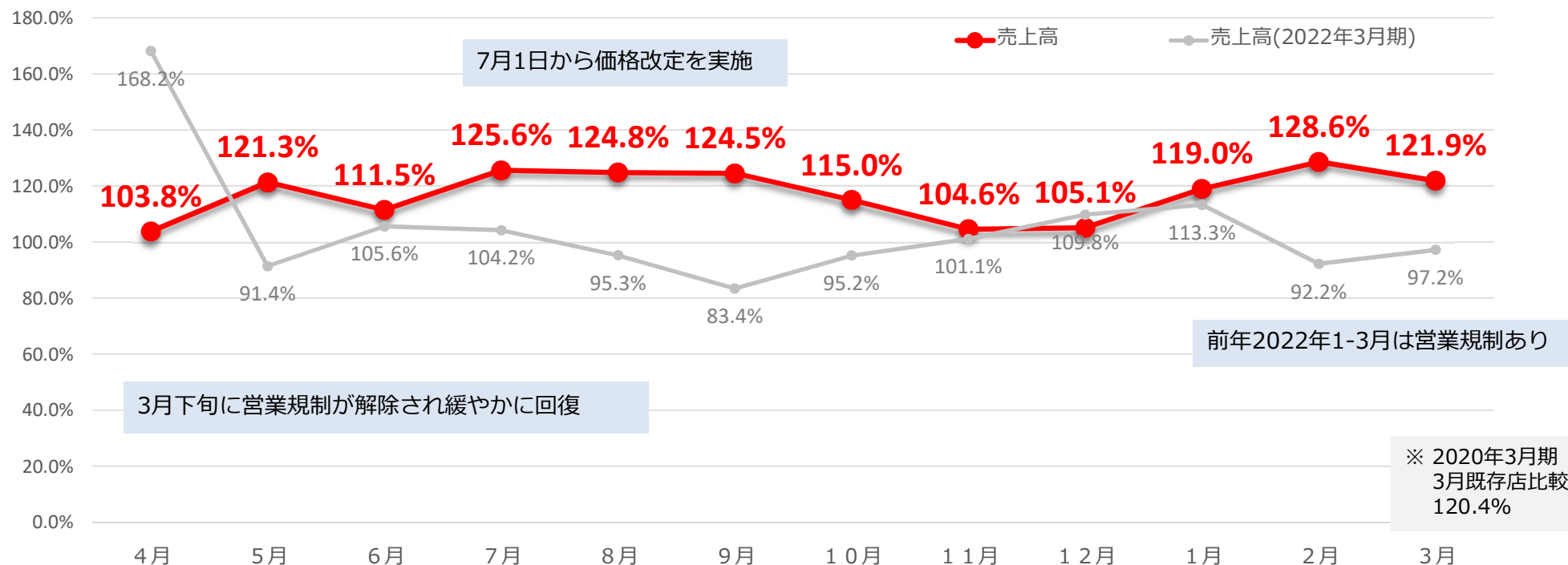


営業利益 (下段は営業利益率)

単位：百万円



2023年3月期 国内既存店の売上高/客数/客単価の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
売上高	103.8%	121.3%	111.5%	125.6%	124.8%	124.5%	115.0%	104.6%	105.1%	119.0%	128.6%	121.9%	116.4%
客数	102.8%	119.9%	108.6%	117.6%	118.0%	116.4%	107.9%	97.2%	98.3%	111.1%	119.7%	114.1%	110.2%
客単価	101.0%	101.2%	102.6%	106.8%	105.8%	106.9%	106.6%	107.6%	106.9%	107.2%	107.4%	106.9%	105.7%

※ 2020年3月期
3月既存店比較
120.4%

国内店舗運営事業

■ 売上高

- ✓ 前期より直営店舗数が12店舗減少(内、PANDA EXPRESS 8店舗)しているものの、前期比10.6%増
- ✓ 2022年10月以降、インバウンドの戻りも徐々に始まり、既存店前期比は 16.4%増と好調に推移
- ✓ Q4では新規に一風堂名古屋大須店を出店



浅草橋本舗イベント商品
格之進ラーメン



3店舗定商品
汁なし胡麻和え麺

■ 営業利益

- ✓ 2022年4月に社員人件費の平均4%のベースアップを実施済、さらに、通期でアルバイト時給単価を上げ、人材確保に努める
- ✓ 原材料や水光熱費の上昇に対応し、7月1日より価格改定
- ✓ モバイルオーダーやタブレットオーダー導入等、DX施策により収益性が改善
- ✓ 決算賞与引当金を期末で計上 (社員給与総支給の7.3%)



2店舗定商品
一風堂かさね味



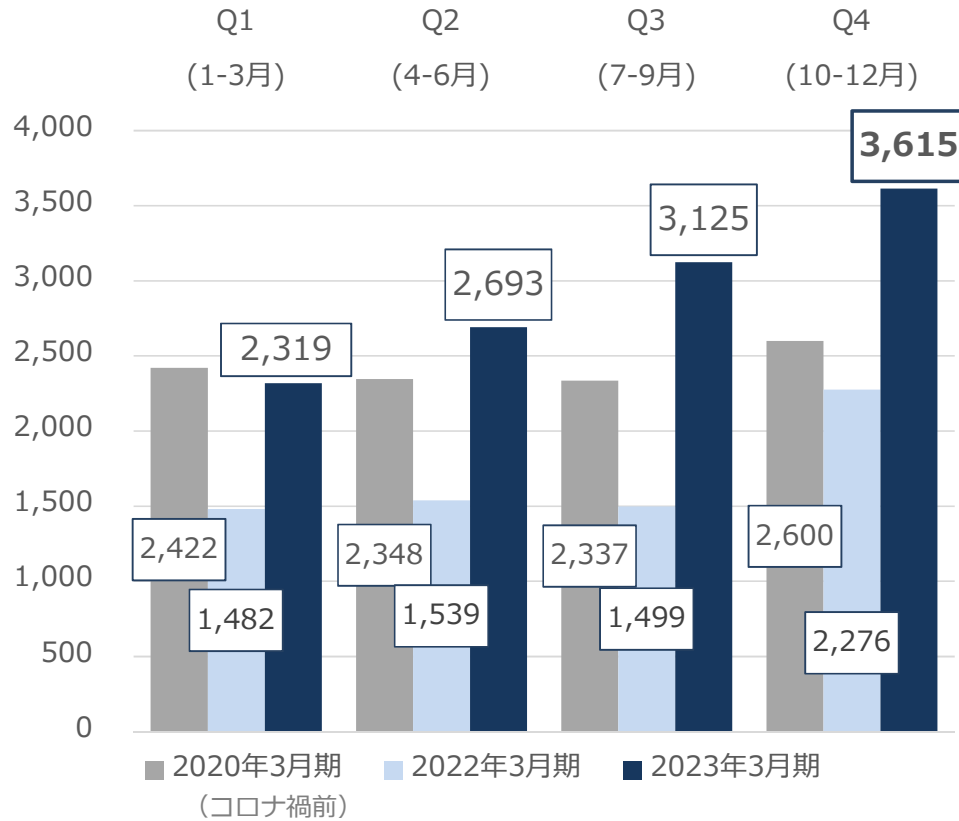
新店名古屋大須店
タブレットオーダー導入

海外店舗運営事業 四半期別売上高・営業利益推移 (2022年1月~12月)



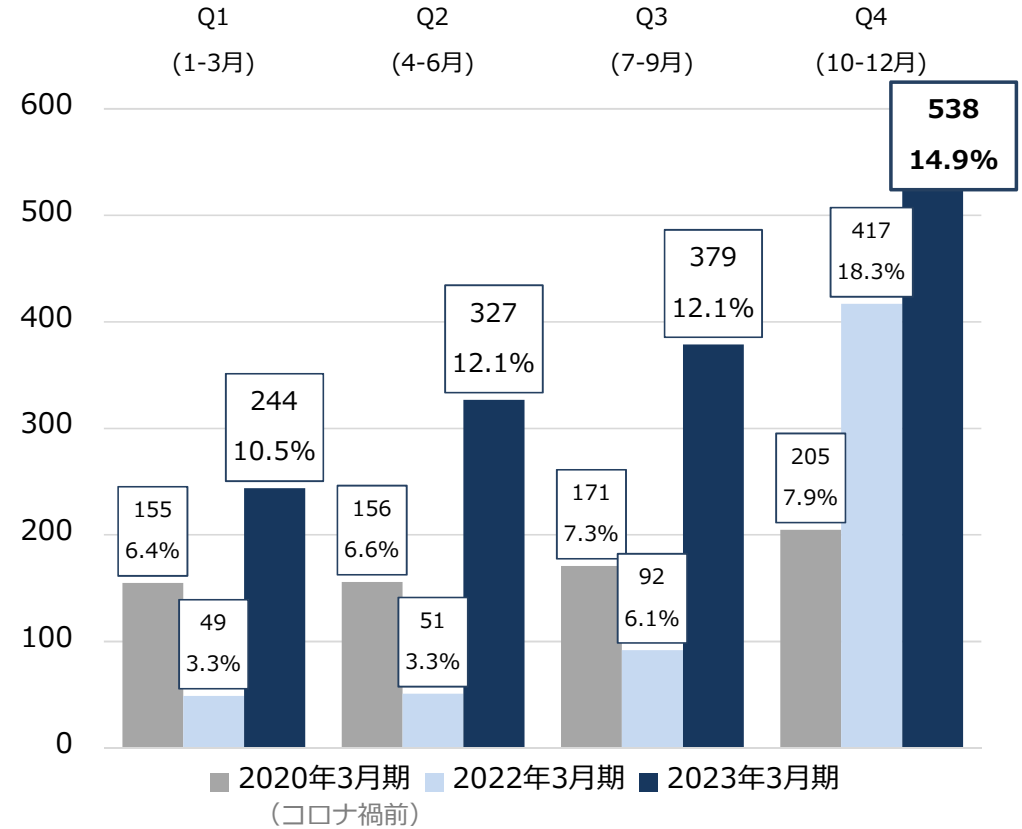
海外の売上高は、前期比72.9%増(為替影響は 20.6%)。年初は一部地域で感染拡大が見られたものの、早期に回復。営業利益は、原価や人件費のコントロールにより、前期比143.8%増 (為替影響は 26.0%)

売上高



営業利益 (下段は営業利益率)

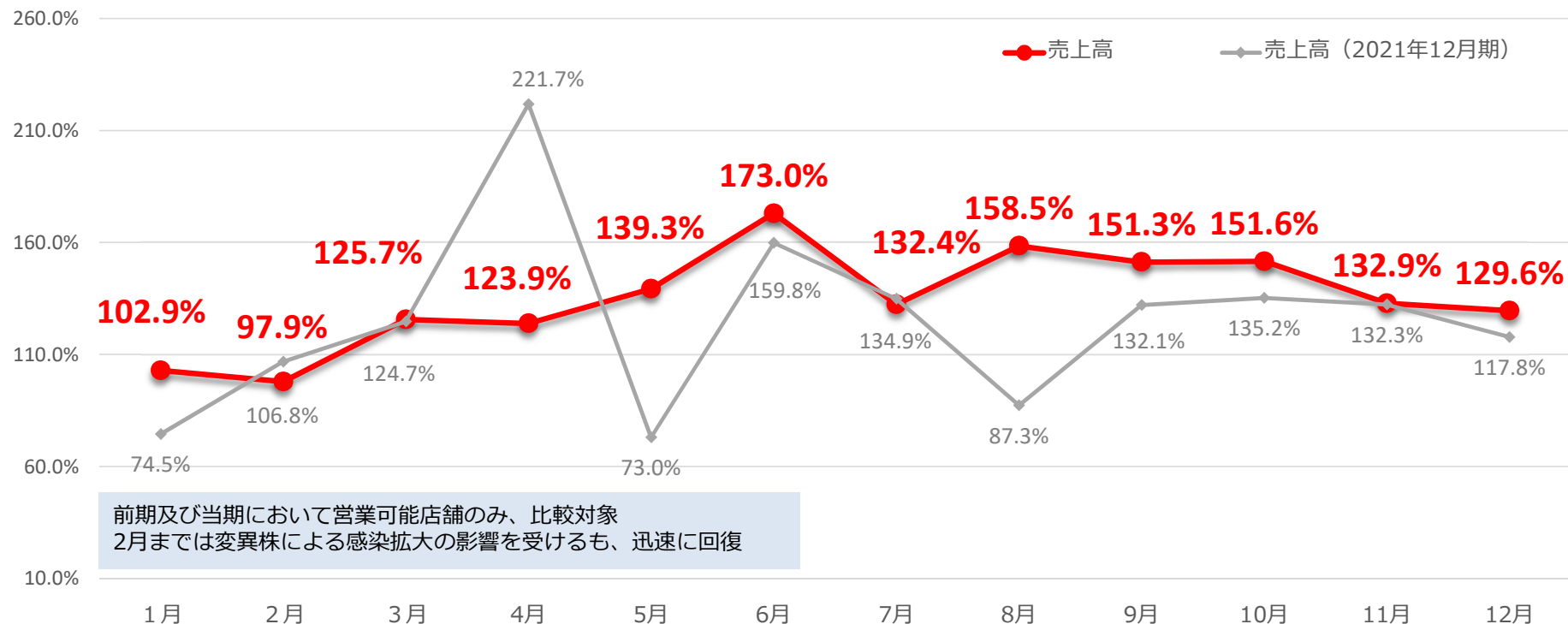
単位：百万円



海外既存店前年比136.1%（12月まで累計）



2022年12月期 海外既存店の売上高/客数/客単価の推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
売上高	102.9%	97.9%	125.7%	123.9%	139.3%	173.0%	132.4%	158.5%	151.3%	151.6%	132.9%	129.6%	136.1%
客数	92.1%	87.3%	100.4%	100.7%	110.3%	139.4%	106.9%	129.9%	119.7%	112.4%	103.2%	107.5%	108.2%
客単価	111.7%	112.1%	125.2%	123.0%	126.3%	124.1%	123.9%	122.0%	126.4%	134.8%	128.9%	120.6%	125.7%

■ 売上高

- ✓ 期間限定商品の販売のほか、価格改定やグランドメニュー内容の改定、デザートメニューの導入等を実施
- ✓ 年初は一部地域で感染拡大が見られたものの、早期に回復
- ✓ Q4の出店は、
直営エリアで3店舗（台湾、オーストラリア、インドネシア）、
ライセンスエリアで1店舗（マレーシア）

■ 営業利益

- ✓ 原材料やエネルギー価格の高騰等、様々なインフレ要因を受け、各エリアにて価格改定やコストの調整を実施
- ✓ 国内同様にモバイルオーダーの導入等、DX推進で収益性が改善



IPPUDO Paris
ベジラーメン



IPPUDO USA
すき焼きラーメン



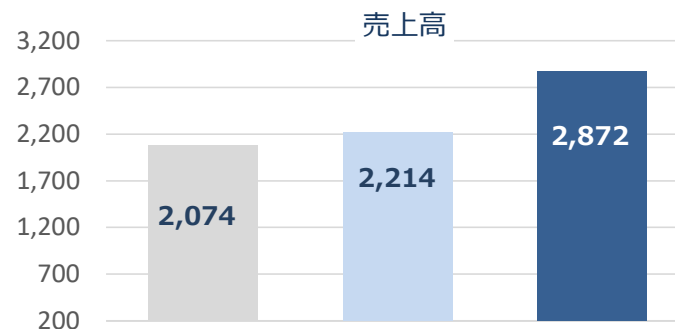
IPPUDO Australia
前菜



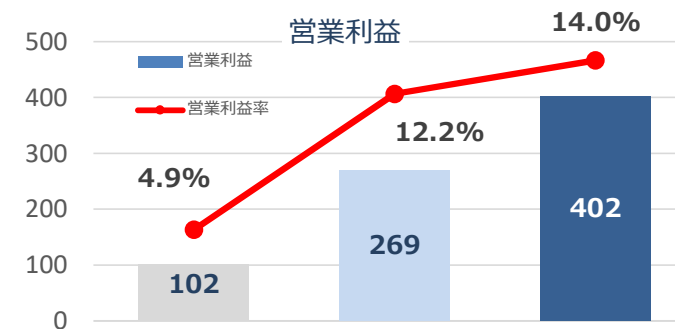
IPPUDO Singapore
創業祭

商品販売

ECサイトや一風堂関連商品、海外商品の販売が堅調に推移、売上高は前期比29.7%増、営業利益は売上増により、133百万円増



売上高前期比 129.7%

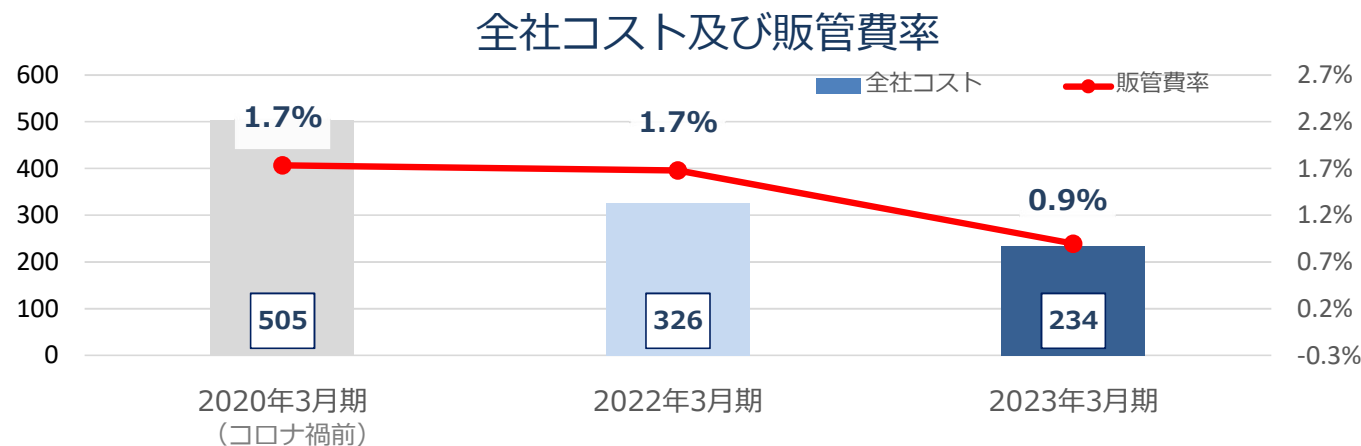


営業利益前期比 149.5%

全社コスト

連結売上高に対する販管費率0.9%と低水準を維持

※販管費率 = 全社コスト ÷ 連結売上高

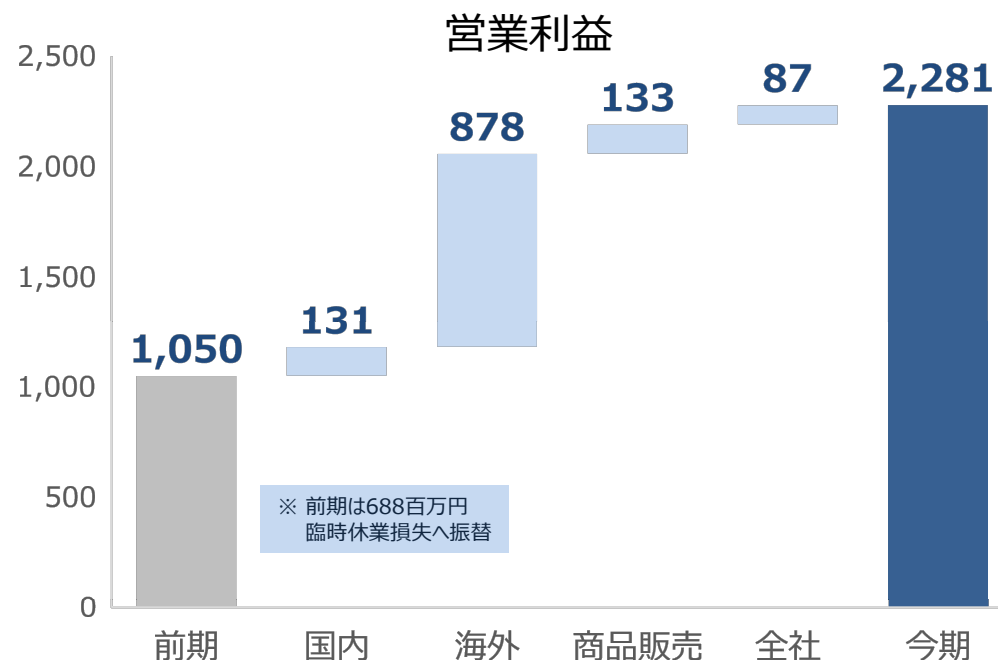
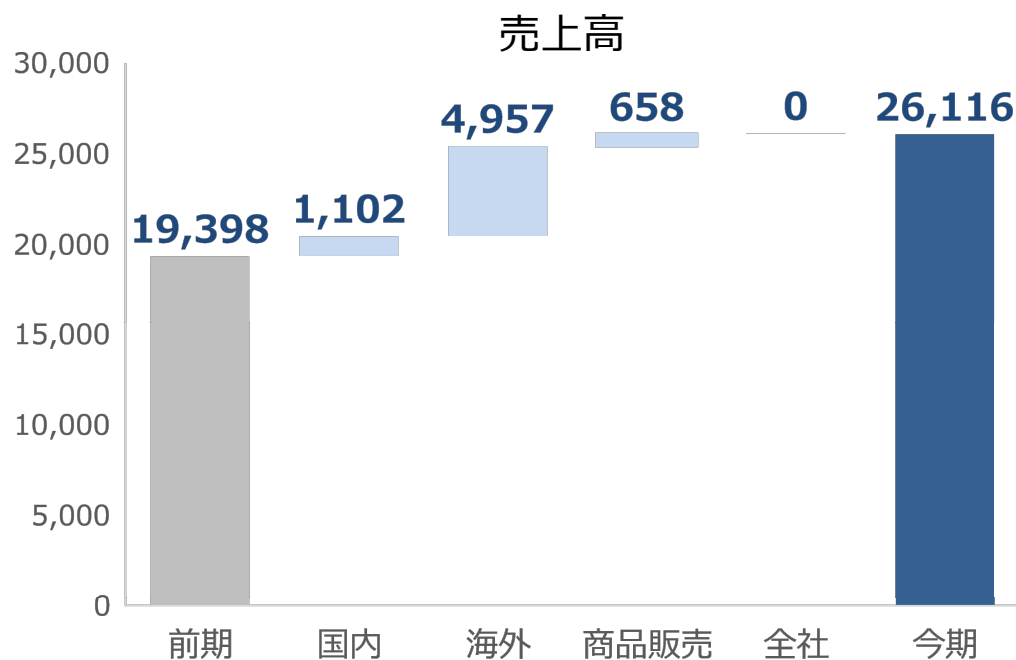


セグメント別売上高及び営業利益、営業利益率（前期比較）



売上、営業利益ともに前期と比較して海外の回復が顕著となり、国内は緩やかな回復に留まる
 商品販売は一風堂関連商品のBtoB営業強化、海外販売好調により伸長

単位：百万円



セグメント別営業利益率

	国内	海外	商品販売	全社	合計
今期	5.4%	12.7%	14.0%	-	8.7%
前期	4.7%	9.0%	12.2%	-	5.4%

連結貸借対照表

業績回復と新株予約権行使による純資産の増加、有利子負債の減少により自己資本比率が43.7%に上昇。

単位：百万円

	2022年 3月末	2023年 3月末	GAP
流動資産	6,650	8,891	+2,240
うち現金及び預金	4,773	6,744	+1,971
有形固定資産	5,703	5,488	-214
無形固定資産	177	157	-20
投資その他の資産	2,739	2,940	+200
固定資産	8,620	8,586	-34
資産合計	15,271	17,477	+2,206

■資産

・現金及び預金の増加	+ 1,971百万円
・閉店等による有形固定資産の減少	- 213百万円
・繰延税金資産の増加	+ 105百万円

	2022年 3月末	2023年 3月末	GAP
負債合計	11,470	9,837	-1,633
うち短期借入金	2,500	2,500	±0
うち長期借入金	4,838	2,918	-1,920
株主資本	3,647	7,231	+3,583
その他包括利益累計額	144	408	+264
新株予約権	8	0	-8
純資産合計	3,800	7,640	+3,839
負債純資産合計	15,271	17,477	+2,206

■負債

・有利子負債の減少	- 1,941百万円
・未払金の減少	- 205百万円
・買掛金の増加	+ 229百万円

■純資産

・資本金及び資本剰余金の増加	+ 1,952百万円
・利益剰余金の増加	+ 1,628百万円

※自己資本比率43.7%（2022年3月末24.8%）

連結損益計算書 (2022年4月1日～2023年3月31日)

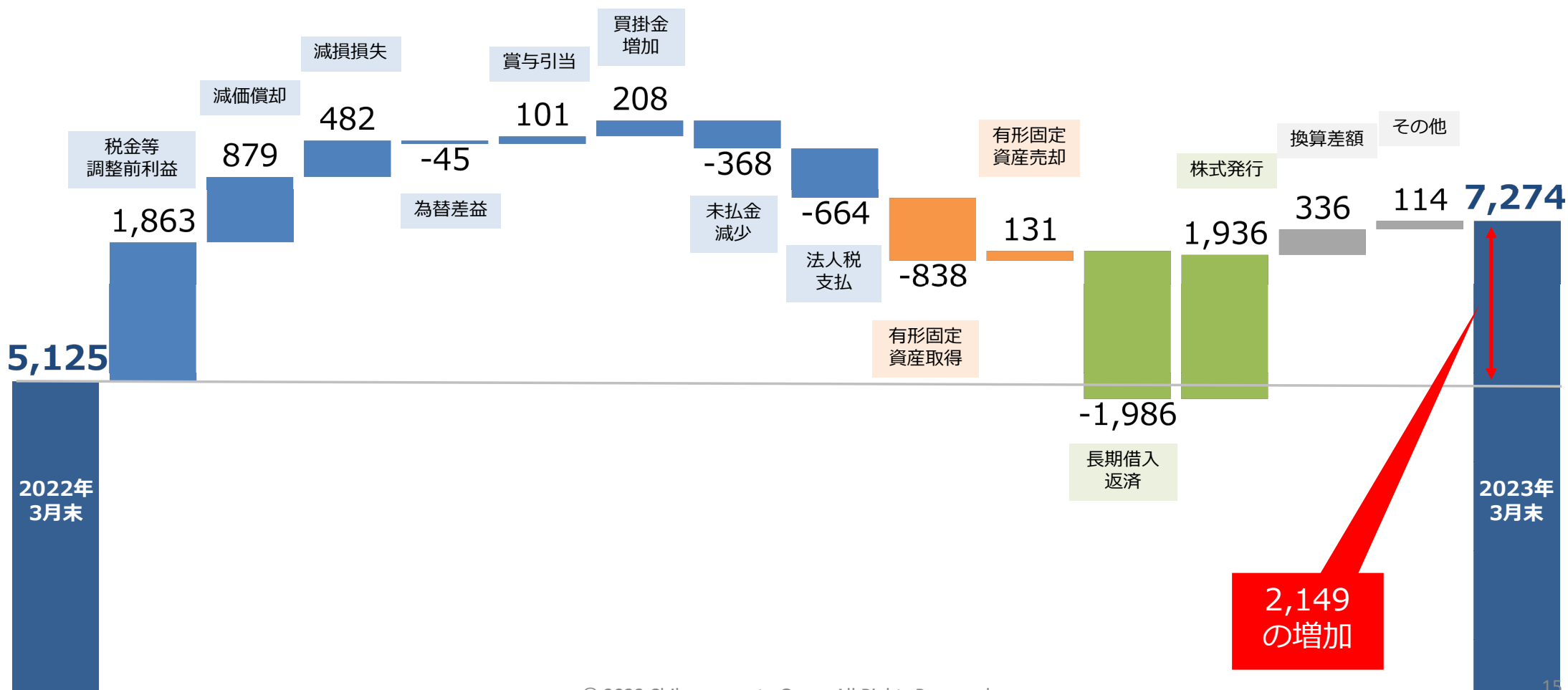


単位：百万円	実績	修正計画	前期実績 2022年3月期	コロナ禍前実績 2020年3月期
売上高	26,116	24,500	19,398	29,106
前年対比成長率	+34.6%	-	-	-
売上総利益	18,367	-	13,743	20,640
販売費及び一般管理費	16,086	-	12,692	19,943
営業利益	2,281	1,710	1,050	697
営業利益率	8.7%	7.0%	5.4%	2.4%
経常利益	2,321	1,830	1,083	623
経常利益率	8.9%	7.5%	5.6%	2.1%
税金等調整前当期純利益	1,863	-	930	-344
親会社株主に帰属する当期純利益	1,628	1,350	923	-214
当期純利益率	6.2%	5.5%	4.7%	-0.7%

連結キャッシュフロー計算書

現金及び現金同等物は2,149百万円の増加
EBITDAは1,224百万円の増加

単位：百万円

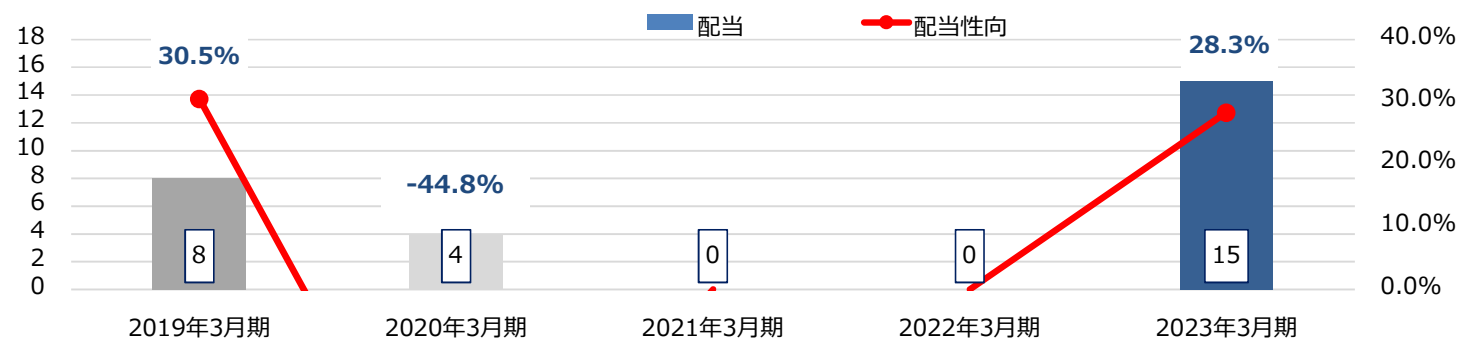


配当予想

過去最高益を達成し、2年間無配だったことから、普通配当10円に加え、特別配当を5円、計15円の配当予想
 2024年3月期の配当予想は、1株当たり14円 (中間 7円、期末 7円)

	中間	期末	年間
基準日	2022年9月30日	2023年3月31日	
1株当たり配当金	—	15円00銭 (普通配当 10円00銭) (特別配当 5円00銭)	15円00銭 (普通配当 10円00銭) (特別配当 5円00銭)

配当の推移



新店舗オープン (1月~3月)

国内において一風堂1店舗、海外において一風堂2店舗・五行1店舗を出店



エリア別店舗数

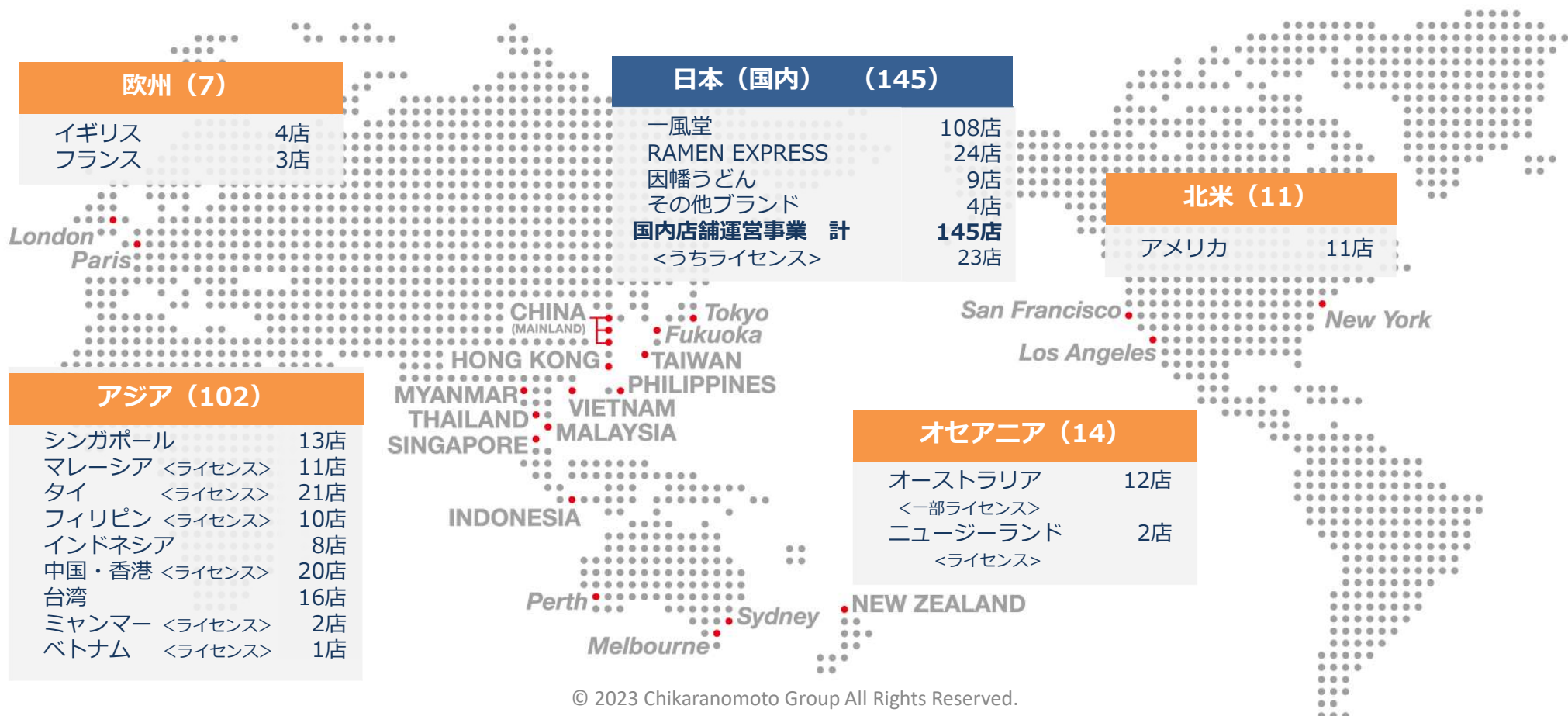
[FY19 : 288店舗 FY20 : 280店舗 FY21 : 277店舗]



Global **15**ヶ国・地域 Total **273**店舗

(前期末からの増減 - 4店舗)

	直営	ライセンス	合計
国内	117	22	139
海外	64	70	134
合計	181	92	273



季節限定商品



1月17日より冬の定番として好評の「味噌赤丸」を期間限定販売

店舗限定商品



一風堂ルミネエスト新宿店にて
プラントベースラーメンを限定販売

イベント



3月14日から新横浜ラーメン博物館
の30周年記念イベント
「あの銘店をもう一度」に
名島亭が期間限定で出店

商品販売の取組について

国内/ECサイト

蕎麦・ラーメン・うどんの販売
贈答品としても人気

■ ECサイト

<https://mensmarket.jp/index.html>



一風堂

一風堂の味を、完全密封。



丁寧に焼きだしたまよなかの麺と、本格生麺。店舗のできたての味を、そのまま家庭で。



創業1988年
④ 渡辺製麺

春のおいしさをお届けします。

桜そば

【春季限定】



博多
うどん

博多うどんを
ご家庭で。

手間暇かけた素材をご家庭でもお楽しみください。

国内/量販店・コンビニエンスストア

幅広い顧客のニーズに合わせた商品を販売



海外/量販店

乾麺タイプのプラントベースラーメンが好調に推移



こども食堂



定期的に一風堂キッチンカーを用いて「こども食堂」を開催
こどもの食を支え、「孤食」を減らすだけでなく、地域のコミュニケーションの場としての機能も果たす

理念

食を通して
世界をもっと笑顔にしたい
ありがとうと言い合える
温かみのある社会をつくりたい

力の源グループは「食を通して新しい価値を創造し『笑顔』と『ありがとう』とともに世界中に伝えていく。」ことを創業の精神に掲げる企業として、
これまで社会や環境に貢献できる取り組みを行なってきました。
わたしたちは今後もこの想いを胸に、
社会がより良い姿で在り続けられるよう、積極的に行動していきます

以下のリンクからご覧ください
[力の源グループのSDGsへの取り組みに関するお知らせ](#)

ワークショップ



自分で作ることの楽しさ、食の大切さ、
夢を持つことの大切さを伝える
ワークショップを海外で再開

2 2024年3月期 業績予想

2024年3月期 業績予想



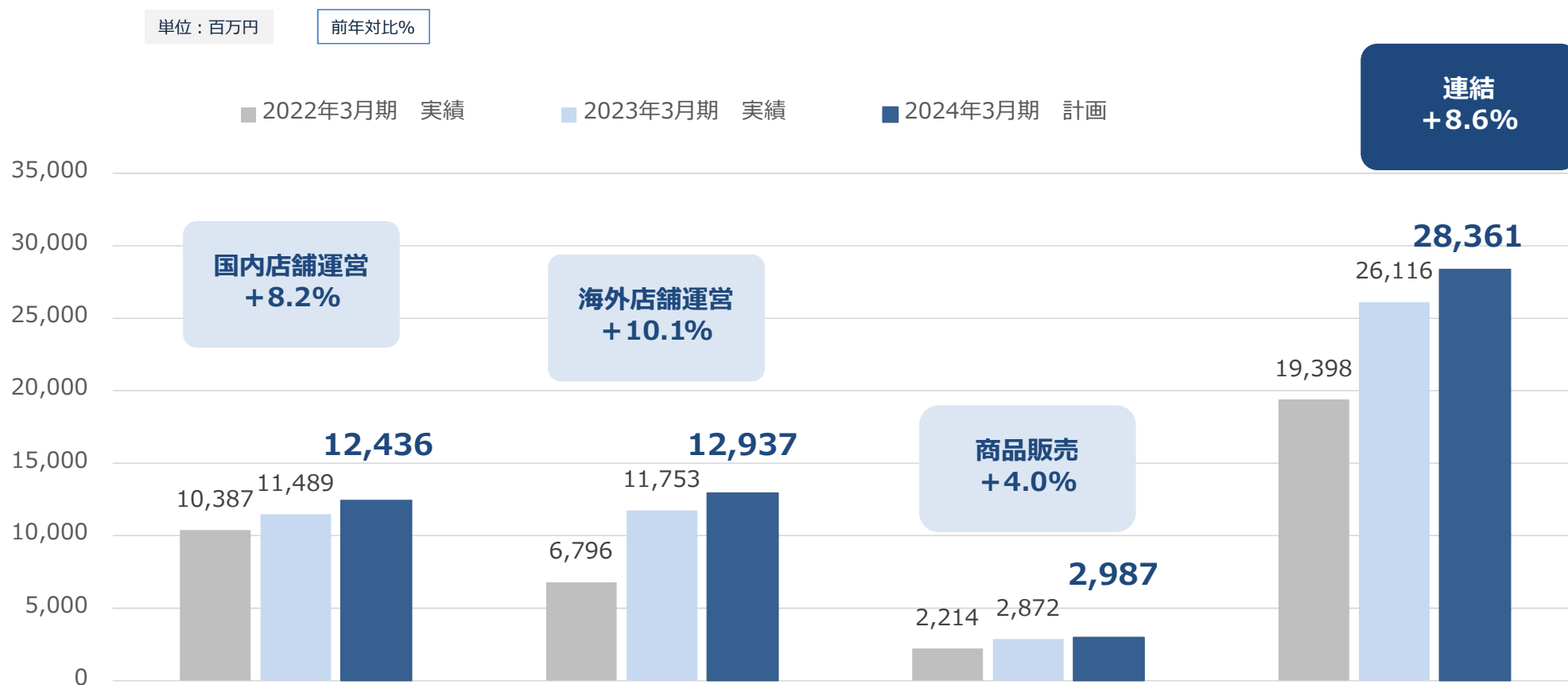
国内海外共に、地政学リスクや為替の変動による、原材料やエネルギー価格変動等、コスト増リスクが
 予見されるものの、前期に引き続き各施策の継続により、堅実な成長を見込む
 2025年3月期以降の成長を加速させるために、国内海外共に、人材の確保やグローバル人材育成等の
 人的資本への戦略投資を行う。また、為替レートは2023年3月期は大幅に円安に振れたものの、
 金融政策等の影響による為替リスクを考慮し、2023年2月末TTMの+15%円高を想定

単位：百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前年比	
			増加額	増加率
売上高	26,116	28,361	+2,245	+8.6%
営業利益	2,281	2,540	+259	+11.4%
経常利益	2,321	2,564	+243	+10.5%
親会社株主に帰属する純利益	1,628	1,821	+193	+11.8%

通貨	想定レート
USD	115.88
EUR	122.92
GBP	139.77
SGD	86.02
AUD	78.12

2024年3月期 業績予想（売上高）

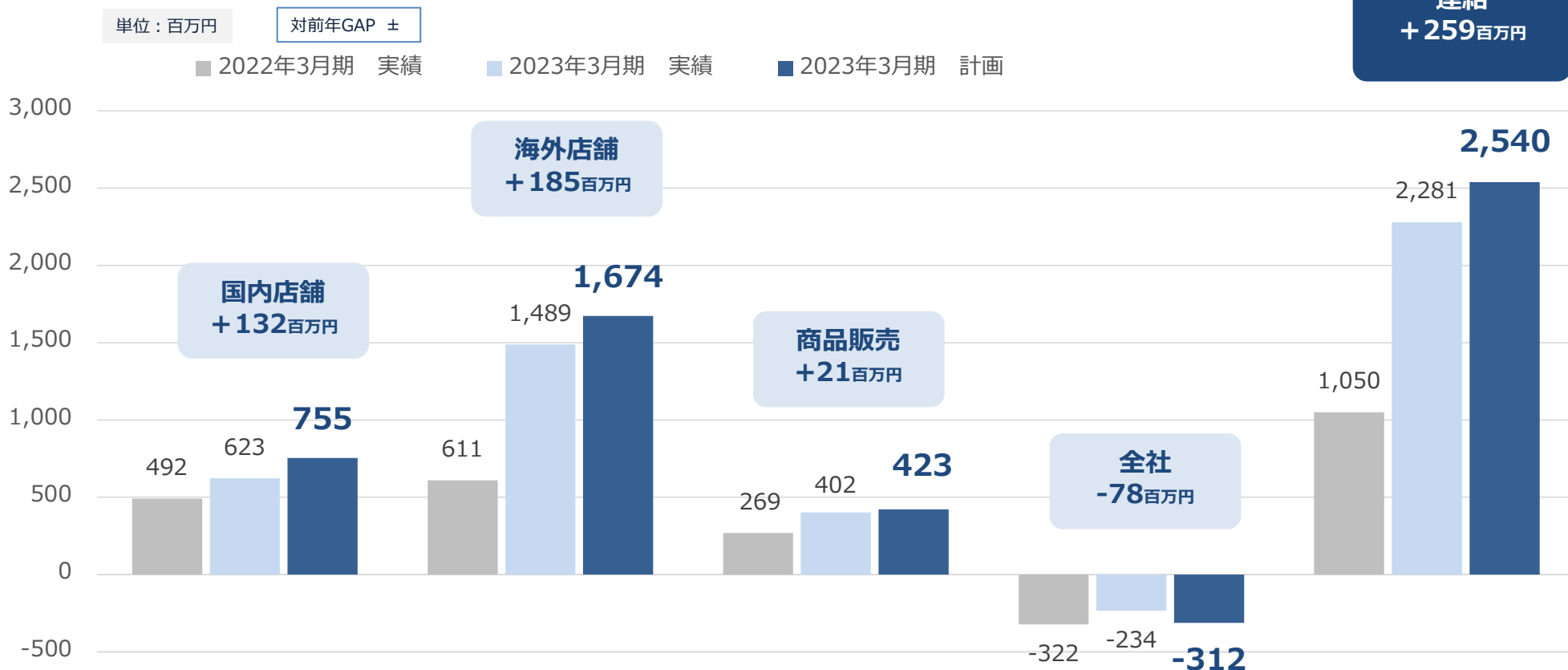
国内海外ともに、既存店の穏やかな成長と、新規出店による売上の増加を見込む。特に海外は出店を加速。
商品販売は、一風堂関連商品の拡販を継続し、連結売上8.6%増を計画



2024年3月期 業績予想（営業利益）

国内海外共に、地政学リスクや為替の変動による、原材料やエネルギー価格変動等、コスト増リスクは
 予見されるものの、引き続きコストコントロールおよび、各種DX施策の推進等により増益の見込み
 全社コストは人的資本投資により、販管費率で1.1%の見込み（前年同期は0.9%）

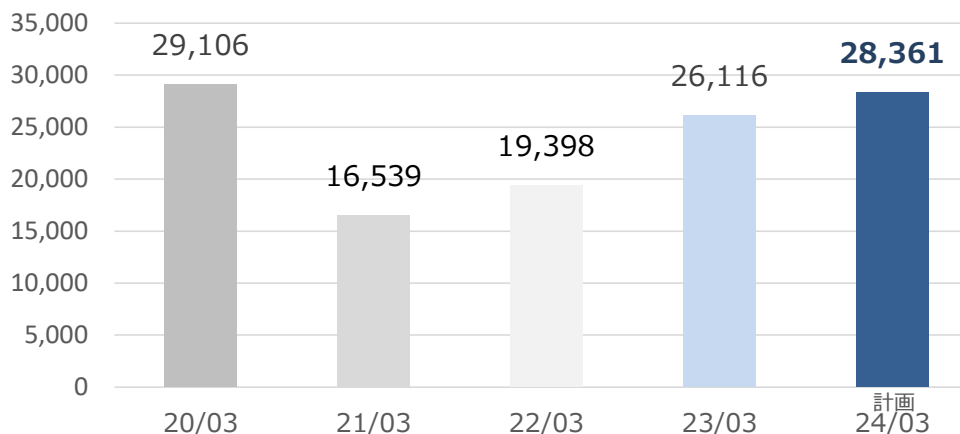
連結
+259百万円



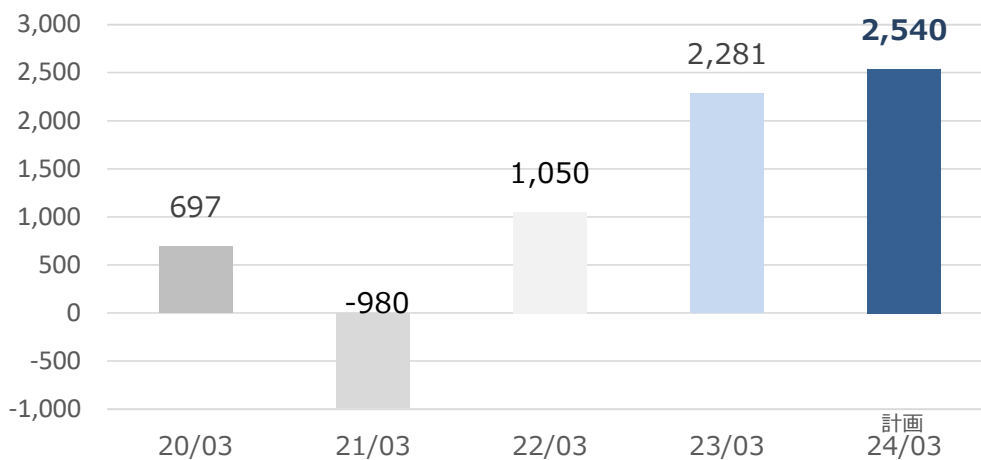
参考 経営指標 (5力年)



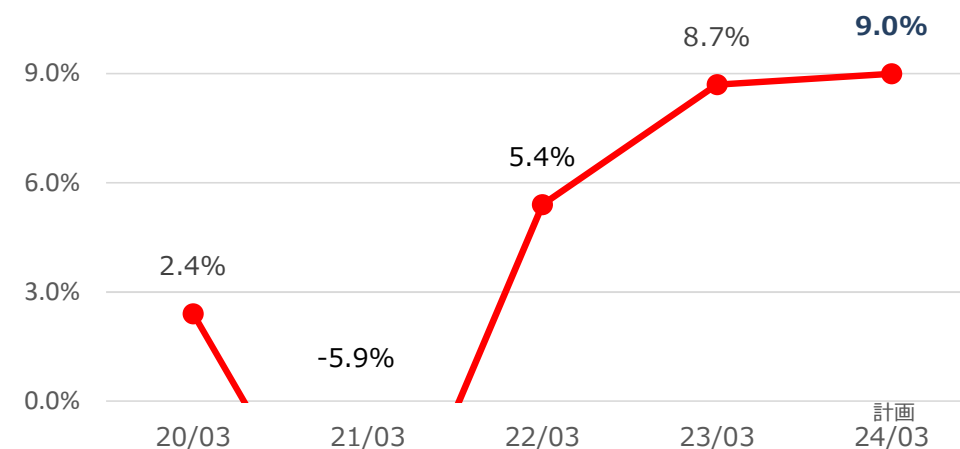
売上高



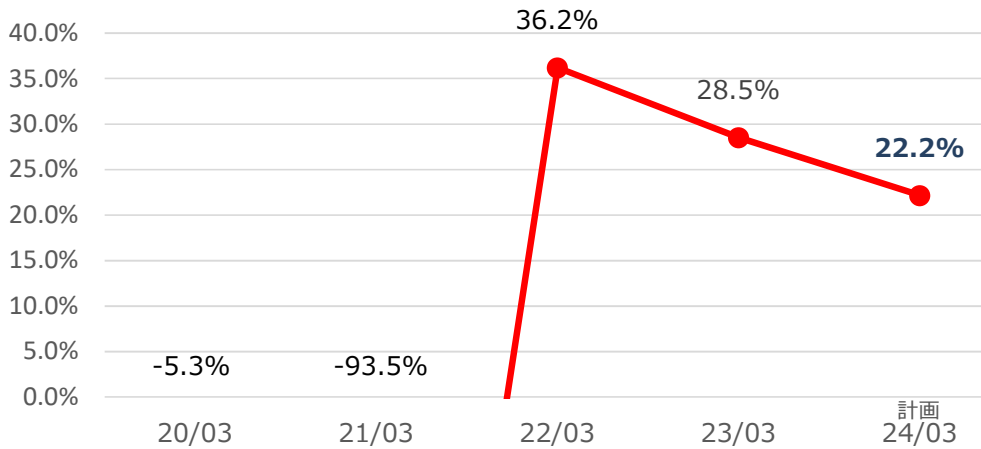
営業利益



営業利益率



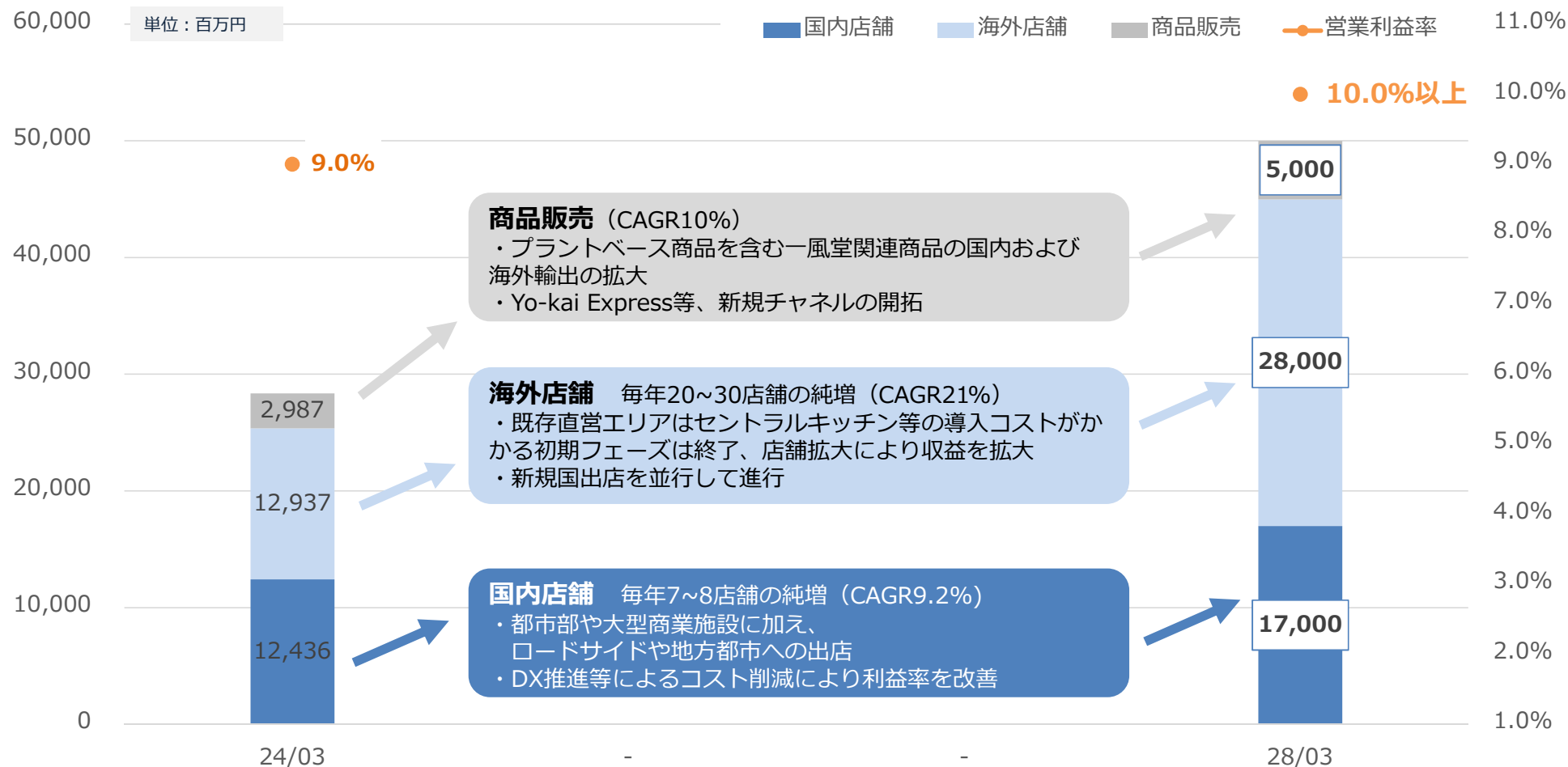
ROE



2028年3月期へのVision

3

2028年3月期へのVision 売上500億、営業利益50億以上



商品販売 (CAGR10%)
 ・プラントベース商品を含む一風堂関連商品の国内および海外輸出の拡大
 ・Yo-kai Express等、新規チャネルの開拓

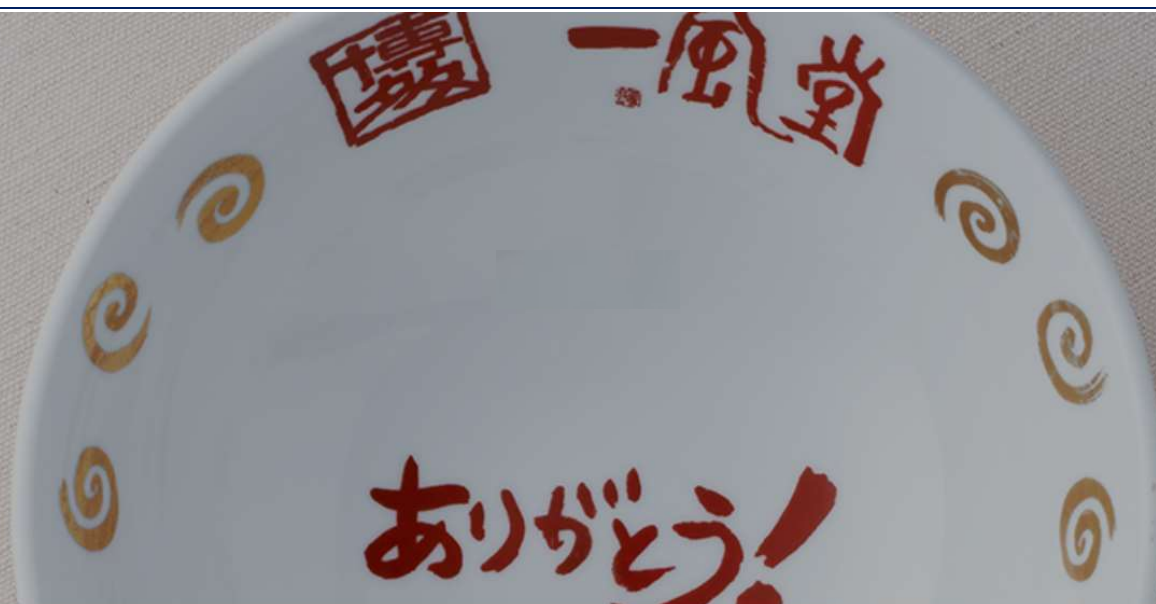
海外店舗 毎年20~30店舗の純増 (CAGR21%)
 ・既存直営エリアはセントラルキッチン等の導入コストがかかる初期フェーズは終了、店舗拡大により収益を拡大
 ・新規国出店を並行して進行

国内店舗 毎年7~8店舗の純増 (CAGR9.2%)
 ・都市部や大型商業施設に加え、ロードサイドや地方都市への出店
 ・DX推進等によるコスト削減により利益率を改善

既存店の強化 / グローバル人材の採用・育成 / 店舗、サポート部門のDX推進 / グローバルSCMの構築
 経営理念の浸透 / 安定的な財政基盤

付属資料

4



食を通して新しい価値を創造し
「笑顔」と「ありがとう」とともに
世界中に伝えていく。

変わらないために、変わり続ける。

株式会社 力の源ホールディングス

【証券コード:3561】

- 所在地 福岡市中央区大名一丁目13番14号
- 設立 1986年（昭和61年）10月30日
- 資本金 31億 1,757万円（発行済株式数：30,075,400株）
- 決算期 3月
- 従業員数 26名（連結498名） ※臨時従業員除く
- 役員構成

代表取締役社長	河原 成美	Mr. Shigemi Kawahara
取締役	中尾 徹	Mr. Toru Nakao
取締役 CSO	山根 智之	Mr. Tomoyuki Yamane
取締役（監査等委員）	齋藤 晃宏	Mr. Akihiro Saito
取締役（監査等委員／社外） 独立役員	辻 哲哉	Mr. Tetsuya Tsuji
取締役（監査等委員／社外） 独立役員	田鍋 晋二	Mr. Shinji Tanabe

（2023年3月末現在）

原点の一杯
白丸元味



白丸元味

原点の一杯

創業当時の味を今に引き継ぐ、一風堂の豚骨ラーメンの本流であり、原点の味。

シンプルな豚骨の旨味を極限まで抽出した豊かで香り高いシルキーなスープに、小麦本来の風味が香る博多の細麺がマッチします。

革新の一杯
赤丸新味



赤丸新味

革新の一杯

特製の香味油と辛みそを加えることで、一杯のラーメンの中でいくつもの味の奥行きと調和を楽しめます。

白丸が正統派ならば、赤丸新味は豚骨ラーメンの可能性を広げた“革新派”。

コクと深みを追求した、一風堂の自信作です。

極からか麺



極からか麺

刺激の一杯

1989年に大名本店で誕生したスパイシーな豚骨ラーメン。

シルキーな豚骨スープに、特製ラー油と香油を合わせ辛味とコクをプラスし、数種類のスパイスを合わせた肉味噌と「シーズニング天かす」を大胆にトッピング。

別皿で添えた「胡麻ばくだん」を途中で溶かすと、担担麺風に味が変わります。

世界中に笑顔とありがとうを



1985.10.16

創業：福岡市中央区大名に「博多 一風堂」を1号店をオープン

1979.11

福岡市博多区に レストランバー「アフターザレイン」をオープン

1995.4

東京 第1号店「一風堂 恵比寿店」をオープン

1997.1

テレビ東京「TVチャンピオン」にてラーメン職人選手権優勝。3連覇

2008.3

アメリカ・NYに、海外1号店をオープン



2009.5

シンガポールに、アジア1号店をオープン

2014.10

イギリス ロンドンに初出店（欧州初進出）



2015.10

創業30周年 記念イベント実施

2016.2

フランス パリに初出店

2017.3

東京証券取引所マザーズに株式を上場

2018.3

東京証券取引所市場第一部に変更

2018.11

海外100店舗を達成

2019.10

Global Leadership Conference開催



2022.4

東京証券取引所
プライム市場に移行



本資料は、株式会社力の源ホールディングス（以下「当社」）の企業情報の提供のために作成されたものであり、日本における当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料は事前の通知なく変更されることがあります。本資料またはその内容については、当社の事前の書面による同意がない限り、いかなる目的においても第三者が利用することはできません。

本資料に記載される業界、市場動向、または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの経営成績、財務状態、その他結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。したがって、将来情報に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来情報に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

